

こころ

県P連だより

編集 徳島市北田宮 1丁目 8-68
発行 〒770-0003 ☎088-633-1105
徳島県PTA連合会

ホームページ
<http://www.tokukenpta.com/>

子ども達の健全な成長の為に

会長 泉 富士夫



会員の皆様方におかれましては日頃より徳島県PTA連合会の活動に際しましてご理解ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて昨今の未曾有の大災害や想像に及ぶがたい事件事故等が起こり子供たちの安全安心や大きな環境の変化が問われる時代となっています。そのような世の中の仕組みや約束を革新したり修正したりするためには一学校単位や市町村単位でも無理な場合が出てきます。都道府県単位であったり国としての対応や修正を要望する事が県連合会や所属する日本PTA全国協議会の事業の一つであります。

過去には教科書の無償化であったり大規模災害の支援事業であったり八百数十万人の会員皆様方のスケールメリットを生かした全国アンケート調査を行い国等関連省庁に要望を行い成果をだしてきました。

これからは少子化、核家族化の進む中PTA活動もその世相なりの進め方に変容して行かなければならない時代です。無駄を省きより効果的、効率的に進めていかなければなりません。

それにはまず、PTAは何をする団体か?を理解して頂きた

と思います。本年度の総会の後に新しく、会長さん、役員さんになられた方々には研修会でお話しさせて頂いたのですが学校で行われるのが「学校教育」家庭で行われるのが「家庭教育」社会で行われるのが「社会教育」であります。子ども達は家庭・学校・地域を行ったり来たりしながら生活し学び成長します。家庭のしつけが学校での学習に生き、学校で学んだ友人関係が、地域につながります。そのようにして子どもの成長は時と場所を選ばず継続、成長していきます。より良い保護者・先生であるためには、自ら学びや研修に励む必要があります。子どもたちとその姿勢を見せることも大切な事と思います。



Q. 徳島県PTA連合会ってどんなところ?

- A. 徳島県PTA連合会は郡市町PTA連合会に様々な情報発信を行ったり、PTAの広報や研修会の実施、活動の要望また表彰等を行う組織です。

Q. 徳島県PTA連合会って何をしているの?

- A. 以下のような事業や活動を行っています。

・大会事業

社会教育、家庭教育及びPTA活動の資質向上に資するための各種大会や研修会を行っています。

・広報事業

大会等の諸事業や、活動の状況等を発信するとともにPTAの当面する課題等に関する情報を発信します。

・表彰事業

PTA活動の資質向上及び活性化のため本会の目的に沿って顕著な業績を上げたPTAその他の団体及び個人、及び優秀広報誌に選定されたPTAの表彰を行います。

・教育支援事業

災害、事故等で被害を受けた会員の支援のための助成活動を行います。

・関係機関に対する要望等

当面の課題の内容等に対応して適宜関係行政各機関等に対して県下一体の協力要請、要望等を行います。

・関係団体等との連携・協力

目標達成のための活動においての連携・協力を行います。

ブロック別PTA活動紹介

～地域の伝統を守り 未来へつなげよう～

家庭・学校・地域の連携

★次号のブロック別PTA紹介は、名西郡P連、勝浦郡P連、吉野川市P連です。

中部ブロック 板野郡PTA連合会

会長 佐藤 央一

板野郡PTA連合会(当郡PTA連合会)は、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板野PTA連合会から構成されている徳島県PTA連合会を構成する中では一番大きなPTA連合会です。郡内単位PTA数(学校数)は、小学校18校(内分校1校含む)、中学校6校の24校(内分校1校含む)。児童・生徒数は8,087名でPTA戸数は6,543戸数となります。

当郡PTA連合会は、会長、事務局、副会長、監事、広報、研修の役割で構成されており板野郡におけるPTA発展育成をはかることによって板野郡教育の振興刷新、児童・生徒の福祉増進を図ることを目的に活動を行っています。他の郡市PTA連合会構成とは若干違い5町それぞれで構成される町PTA連合会で構成されているため、PTA活動の事業主体は各町PTA連合会を中心に活動を行っていることが多くあります。

当郡PTA連合会活動のスタートは、毎年5月に開催される板野郡PTA連合会総会からはじまります。総会では、前年度を振り返るとともに本年度の活動に活かされる運営協議を行い、1年間の事業予定を会員の皆さまにお伝えしています。役員会を年間5-6回開催し、各町PTA連合会活動の情報交換



平成30年度板野郡PTA連合会研修会

を行い連携をはかれるようにしています。また、年1回の研修会開催を通して会員の保護者・教職員の皆さまに「交流の場」「学びの場」となれるよう企画運営をしています。昨年度は、NPO法人ヒカリカナタ基金理事長竹内昌彦先生に「私の歩んだ道」と題して研修会を開催しました。今年度は、福井県で活動している3兄妹バンド「一途」によるライブを通して友だち・家族・自分を大切にすることを学ぶ研修会を企画しています。

各5町PTA連合会でも広報紙発行、日本PTA四国ブロック研究大会香川大会古紙回収やバザー・ベルマーク活動、球技大会や研修会を通して「交流の場」「学びの場」となる事業が開催されています。

板野郡PTA連合会では、単位PTA、町PTA連合会の「交流の場」「学びの場」を今後も提供していけるように進めていきたいと思っています。また、徳島県PTA連合会との連携を通して、児童・生徒が安全に楽しく学習や活動ができるよう環境を整えていくことも進めていきたいと思っています。

来年度は、日本PTA四国ブロック研究大会が徳島県で開催されます。板野郡PTA連合会としても日々の活動を通して交流や経験したことを活かしていけるよう支援していきたいと思っています。



日本PTA四国ブロック研究大会香川大会

西部ブロック 美馬市PTA連合会

会長 鴻池 正彦

美馬市PTA連合会は、美馬町・脇町・穴吹町・木屋平の4支部で組織され、今年度の園児・児童・生徒数は、2,337名です。

昨年度は、11月23日にPTA連合会研修会として、文化講演会を開催しました。講師に宇津木妙子さんをお招きし「夢の実現～努力は裏切らない」の演題で盛大に開催できました。当日は、親子での参加が多く、貴重な講演を聴くことができました。

毎年、各支部ごとに開催している球技大会等の活動の様子を紹介します。

美馬支部は、以前は地区対抗ソフトボール大会やバレーボール大会を実施していましたが、幼・保・小学校の統合に伴い、0歳から15歳児の保護者が会員となりました。このことから、園児から中学生、保護者全員が楽しめるよう、小中学校のフリー参加日と合わせ、写真家・冒険家である松本紀生先生を招き、フォトライブを11月28日(水)に美馬中学校体育館で開催しました。松本氏が訪れたアラスカなどの世界の絶景写真と体験談に、参加した約470名は心を躍らせていました。今年度も同様に、幅広い年齢層が楽しめるよう絵本作家くすのき しげのり氏を招き、10月に講演会を開催する予定です。

脇町支部は、例年11月の日曜日に、ミックスソフトバレー大会を開催しています。脇町支部内の中学校、小学校、こども園、幼稚園から約20チームが参加し、脇町にあるうだつアリーナで行っています。9月の監督会議で、各チームの代表者が集まり抽選を行い、予選リーグ、決勝トーナメントにより優勝チームを決定しています。この大会では、男性は前衛からのアタックを禁止したり、経験者のみならず会員全員が参加しやすいよう配慮し



ています。また、保護者のみではなく先生方にもご協力をいただきPTA会員の親睦を図っています。毎年、各チームが和気あいあいと真剣に試合を行っており、大盛況となっています。

穴吹支部は、昨年10月7日に球技大会としてミックスソフトバレーボール大会を開催しました。毎年、事前に打ち合わせ会を行い、運営方法やルールについて検討しています。支部の独自ルールとして、男性のアタックラインより前でのジャンプしてのプレーは、トスアタックのみ可とするなどとし、だれもがプレイしやすいよう改善を重ねてきました。参加チームは学校数やPTA戸数の減少の影響があり11チームで、一昨年度から減少していますが、予選リーグ・決勝トーナメント共にどの試合でも熱戦が繰り広げられました。日ごろの運動不足をものともせず、ファインプレーあり笑いありの激戦・熱戦が繰り広げられました。日ごろ、なかなか接する機会が少ない保護者や先生方が和気あいあいと汗を流し交流をすることが出来ました。会員同士はもとより、先生方との絆も深まり、今後の活動への大きな力となることを感じた1日となりました。

木屋平支部は、7月12日(金)午後7時より木屋平小・中学校体育館において、木屋平地区PTA連合会球技大会(ソフトバレーボール)を開催しました。会員のみなさんは、毎年この大会を楽しみにしており、今年もたくさんの会員が参加してくださりました。当日集まった会員と教職員でチームを編成し、今年は3チームの総当たり戦で行いました。昔取った杵柄で好プレーありの、数々の迷珍プレーが飛び出したりのと、どの試合も白熱し、激戦が繰り広げられました。結果は、小・中学校教職員チームが優勝しました。木屋平支部は、会員数は少ないですが、みなさん協力的で1家庭1役以上で活動をしています。そして、支部行事にはほとんどの会員が参加し、親睦が図られています。



南部ブロック 阿南市PTA連合会

会長 和 渕 祥章

阿南市PTA連合会は、小学校22校、中学校11校、会員数5,763名により構成されており、「子どもたちが、夢に向かって、笑顔で輝けるために」を重点活動内容とし、さまざまな取り組みを行っています。組織には家庭教育部、人権教育部、保健体育部、健全育成部という4つの専門部があり、それぞれの役割に沿った活動、催しを行っています。

専門部が催す年間行事の中で一番最初に行われるのは、保健体育部が中心となって開催する球技大会です。例年7月の第1日曜日に開催しており、ソフトボールとバレーボールの2競技が行われます。今年は7月7日(日)に開催され、ソフトボールは小勝緑地グラウンドにて30チームが参加、バレーボールは阿南市スポーツ総合センターにて29チームが参加し、熱い試合が繰り広げられました。親睦が目的の球技大会ではありますが、地域で作ったチームに参加し、決められたルールをしっかりと守りながら、全力でスポーツを楽しむ姿を子どもたちに見てもらい、これは教育という面からも素晴らしい機会となっているのではないかと思います。この球技大会はその開催時間の早さから、保健体育部員ら関係役員は新年度が始まるとすぐに大会準備に取り掛かります。年度初めという忙しい時期に、役員たちは時間を作り、予定を合わせ、緊密に連絡を取り合いながら大会の舞台を整えていきます。大変だと感じることもありますが、この時間が発足間もない市P連メンバーの交流を深め、よりよい人間関係を築いていくよいきっかけとなっています。

7月の中旬には家庭教育部による家庭教育研究会が開かれます。今年は7月17日(水)に開催され、講師に助産師でいのち咲かせたい代表の山本文子先生を迎えて、「輝くいのちのために「いのちと性を考える」をテーマにご講演を頂きました。平日の夜の開催にもかかわらず約200



人の方々が会場をいっぱいにしました。先生のお話は助産師になられた経緯から始まり、その経験から得られた性教育に対する独自の視点と、山本先生ならではのことで語られる驚きの体験、そして随所散りばめられた愛情あふれるエールに、参加者たちはときには肩を揺らして大笑いし、ときにはハンカチで涙を拭いながら、あっという間の2時間を過ごしました。参加者からは、「こどもへの愛情を再確認できました。」「子育てや家族関係について無理をしなくてもいいんだ、という安心感をもらいました。」などたくさんの声を頂きました。

健全育成部は毎年11月に健全育成研修会を実施しています。いままさにその準備中なのですが、昨年は「みんながつくる みんなの学校」～すべての子どもの居場所を地域の学校に～をテーマに木村泰子先生にご講演を頂きました。

人権教育部は8月に行われる阿南市人権教育協議会小中学校教育部会および高校高専特別支援学校教育部会の合同現地研修と、2月に行われる阿南市人権教育研究大会へ参加しています。昨年の合同現地研修は広島県の大久野島で行われ、大久野島毒ガス資料館の見学と島内でのフィールドワークが実施されました。この研修内容は参加者である那賀川中学校の岡崎和子先生により、2月に実施された人権教育研究大会の分科会にて発表されました。またこの分科会では、加茂谷中学校で行われている「PTAによる自作の人権メッセージの朗読」や「使い終わったランドセルに新しい文房具を詰めてアフガニスタンに送る活動」などユニークな人権教育活動についての発表も行われました。それぞれの発表のあとにはディスカッションも行われ、3時間におよぶ充実した分科会となりました。

ここまでで簡単ではありますが阿南市PTA連合会の主な行事を紹介させて頂きました。市P連役員みんなで協力して、それぞれの催しに参加者に楽しんでもらえるよう、またわたしたち自身も楽しみながら、計画、開催できるよう努めています。



令和元年度 三行詩コンクール 徳島県P連 優秀賞

小 学 校 の 部

一ばんたのしかったこと おとうさんとおかあさんが、はくと手をつないでほくが空中にういたこと。

すごくおぼえているよ。

さんかん日 親と子のきずながふかまる 本気のドッジ

日曜日 みんなでいっしょに夕ごはん 家族の話もおかずの一つ

おじいちゃんのだじやれは 家族みんなの笑顔の元

これからほくも家族の元気の元になるぞ

家族と一緒にいるとき 友達と一緒にいるとき 生きているなど感じる

伊沢小学校 2年 黒川 呼幸

伊沢小学校 6年 福井 蒼大

伊沢小学校 6年 武原 海翔

伊沢小学校 6年 河本 偉明

江原南小学校 6年 福本 萌衣

中 学 校 の 部

「こないでいいよ」と言ったけど まっさきに家族を探した 参観日

「何年息子やってるの?」「何年母親やってるの?」

笑顔で言えば 絆も理解も深まるね

「早よ寝なよ。朝起きるんがづらいでよ。」いつもそやっていうけれど 母さん毎日 夜おそくに寝て早よ起きる

もうちょっと たよってくれてもええけん

ゴロゴロと 寝る母の横に ねこが3びき

たくましい 親の背を見て育つ僕 だんだん近くなる親の背中 次は僕が恩返し

脇町中学校 1年 正木 葵

脇町中学校 3年 葛籠 真人

市場中学校 1年 面木菜那心

市場中学校 1年 高田 匠輔

福井中学校 1年 福谷 晟也

一 般 の 部

歩き始めたばかりの娘の小さな手をつないだ時 この手を守っていこうと強く思った。

今、少し大きくなった娘の手をつないで あのときの気持ちを思いだす。

疲労感 我が子の声で ふっとんだ

「英語の勉強した?」と聞くと「私は日本人です」と答え 「歴史の勉強した?」と聞くと「過去に興味はない」と答える

そんな我が子がたまらなく好きだ!!

Ready Go!! 勝てなくなるまで後少し 負けた次から 指相撲

娘の声や話し方が私に似てきた。 私もふと 母に似てきたと自分で思う。

母もかつて同じように感じたのだろうか。

松島小学校 岡本 昌代

羽ノ浦中学校 井本 友子

羽ノ浦中学校 増田 美紀

羽ノ浦中学校 猪岡 睦子

羽ノ浦中学校 天野亜希子

PTAの皆さんが“今”気になっていること、知りたいことを教えてください!!
今回は「いじめ」について。



今回お話を伺ったのは・・・

徳島県教育委員会人権教育課 いじめ問題等対策室長

安西 政和 さん



Q1. 子どもがいじめられているのではないかと思ったら、まず何をすればいいですか？

A. ケースバイケースですが、“傾聴・受容・共感”が大事!!

とにかく話を聞いてあげること! とはいってもなかなか話してくれないこともあります。話してくれたら“ありがとう”の気持ちを伝えてください。話を聞いたらすぐにアドバイスを言いたくなってしまいますが、まずはゆっくり話を聞いてあげてください。

Q2. SNSなどのネットによるいじめ。どのように対策したらいいですか？

A. 世に出ている事案は氷山の一角であり、見えにくいのが現状。スマホを持たせる時期をよく検討し家庭でのルール作り、フィルタリングをかける等の対策を。SNSによるいじめは、当事者だけではなく傍観者がいて、その傍観者が勇気をもって保護者や先生に伝えることが大事。

SNSは豊かなコミュニケーションツール、家族でSNSを利用する場合は、相手を思いやったメッセージを発信してほしい。

Q3. いじめが年々増えて、昔に比べて陰湿ないじめによる自殺が後を絶ちませんが、自殺の防止策としてどうすればいいですか？

A. どの世代も自殺の件数は減少傾向にあるが、10代の自殺は変わらず横ばい。

周囲の大人が、子どもたちに生き抜く力（特にSOSを発信する力・悩みを相談する力）をつけていけるようにしましょう。

Q4. 徳島県では現在、いじめ問題についてどのような対策をされていますか？

A. 全国的にいじめが一番大きな問題であり、いじめ防止に繋がる多くの事業を行っています。例えば臨床心理士などに“いのちと心の授業”と題した講話を依頼し各学校で行っている他、来年度から全ての小・中学校・特別支援学校に「いじめ防止子ども委員会」を設置し、子どもたちの創意工夫により解決できる取組、また、保護者と地域を巻き込んだ取組を実施。既に取り組んでいる学校も。いじめ問題を解決するのは最後は子ども自身です。

～安西室長からのメッセージ～

もし、お子さまのことで気にかかることなどあれば、担任の先生やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーに相談してください。スクールカウンセラーは主にカウンセリングを通しての心のケア、保護者に対しては子育ての相談にのってくれます。スクールソーシャルワーカーは家庭訪問などを通し、子どもに関わるいろいろな悩みから家庭問題等の相談にのってくれ、必要があれば関係機関に繋いでくれます。でも、基本的には学校をたよってください。学校が組織的に対応してくれます。とにかく“傾聴・受容・共感”が大事であり、我々も子どもたちのわずかなSOSに気づき、悩みを聞いてほしいと思ってもらえる大人になること、日頃から、子どもたちにしっかり愛情をもって接し、厳しいけど精一杯愛していると感じてもらえる大人になることが大事です。



今回お話を伺った安西室長は、質問を愛情いっぱい親身になりお答えくださいました。とにかく悩まず、些細な事でいいので各所の相談機関に相談して話を聞いてもらうことをきっかけに軽微な内に、深刻にならない内に!!

安西室長、ありがとうございました。

指導者研修

七月二十一日に教育会館にて徳島県PTA連合会におけるPTA会長指導者研修会が実施されました。

個人情報保護法改正に伴うPTAとしての対応に関して責務から情報漏えい時等の罰則と民事賠償またPTAとしての体制整備において学校が保有する個人情報を利用

全国大会

八月二十三・二十四日「つなげよう「いのち」のバトン 次世代を生き抜く子供たちへ」のスローガンのもと第六十七回日本PTA全国大会・兵庫県大会が行われ、徳島県から四十九名が参加しました。一日目は県内十会場の方科会に分かれ、様々な特色のある講演を聞きました。二日目の全体会では「子育ては、心理学でラクになる」の演題でメンタリストDaigoさんの講演でした。自身のいじめの経験談など心理学、統計学などを踏まえ、科学的根拠をいじめの新たな視点での子育て術を学ぶことが出来ました。



四国大会

第四十八回日本PTA四国ブロック大会・香川大会が十月十三日に開催されました。前日から台風十九号が猛威をふるい、全国で

用する際の注意
点など普段
問題と見た
事のない事
聞くことが
き、今後の
PTAのあり
方を考える
機会になり
ました。

大変な被害をもたらしましたが無事開催となりました。

「高めよう!子どもを育む親デカラ今こそ深める親子の絆」を大会スローガンのもと、県立農業高校による迫力ある拓心太鼓が始まり、「ガッテン流!子どもが変わるプレゼン技法」の演題で元NHKためしてガッテン演出デスク北折一氏による基調講演がありました。超速でお話と聞かれましたが、本当に超速でお話してくださる、北折氏実体験の計りださる、ダイエツトやインキダイエツトの見破り方、わかりたくなる伝え方等笑いあふという間の時間でした。また一日を通して、香川県PTAの皆様のおもてなしも素晴らしく、郷土料理「あんもち雑煮」もとても美味しかったです。



日本PTA全国協議会

国内研修事業 in 渡嘉敷村

国内研修に参加して

鳴門中学校

武知 勇多



一番楽しかったことは、とかしくビーチでの海洋研修です。世界でもトップクラスの透明度の海に入ってすごく興奮しました。シュノーケリングでは、サンゴや色とりどりの魚、野生ではなかなか見ることができないウミガメに会えてすごく感動しました。大型カヤックや二人乗りカヌーでは、みんなで協力して漕ぎました。村内散策では、島に一つしかない信号を見て驚きました。平和学習では、集団自決跡地に行きました。悲惨な話を聞いてとても心が痛く悲しくなりました。渡嘉敷島ワークシヨップでは、エイサーの太鼓をしました。島んちゅとの大交流会でエイサーの練習の成果を披露しました。少し失敗したけどとても楽しかったです。

最後の夜のミーティングでは、楽しく笑顔で終わろうと班のみんなで楽しいゲームをしました。僕は阿波踊りを踊りました。うちわの代わりに紙を持って踊りました。



みんなの笑顔が忘れられません。国内研修に参加して、たくさんの人たちと出会いました。みんな初めましての人ばかり。研修が楽しみだけけど不安もあり、複雑な気持ちで出発しました。四泊五日、一緒にいろいろな体験をしていくことで絆も深まり、帰る頃には寂しさで心がつぶされそうでした。また会えると信じて、一人ひとりと握手をしました。一生忘れることのできる貴重な経験になりました。自分から一歩踏み出す勇氣が大事。僕が研修で学んだことです。これからもどんどん色々な事にチャレンジしていきたいです。本当にありがとうございました。

仲間がいるって

三加茂中学校

垂水 香乃



私は一日目の朝、不安で怖くて行きたくないと思ってしまうほど、

つらい気持ちでした。空港で会った人もみんながこわく見えて、早く五日間が終わってほしいと思っていました。しかしその夜には、空港が同じだった人とも一班の人とも、とても仲良くなりました。また、これからの五日間がとても楽しみに感じました。それからの五日間は本当にあっという間で、最終日に近づくにつれてみんなと離れてしまうのが辛くなってきました。しかし、「また会える」そう信じてみんなとお別れしました。そんな五日間で私が学び、感じ、考えたことが大きく分けて三つありました。

一つ目は、人のあたたかさや自然の美しさです。いつも笑顔で優しい人たちが守り続けてきたからこそある今の自然の美しさにとっても感動し、私もふるさとをもっと大切にしていこうと感じさせてくれました。

二つ目は、戦争の恐ろしさです。沖縄では多くの集団自決があったことを学びました。そんな生きたくても生きられない状況になり、亡くなってしまった人たちのためにも、私は日々の

平和を心から幸せに思い、一日一日を大切に生きていきたいと考えました。

三つ目は、協力し合い助け合うことが、どれだけ大切なことを考えさせられました。この五日間でたくさんの方に挑戦しました。その挑戦に必要不可欠だったことが協力でした。協力し合うことで世界一おいしいカレーを作ることができました。またテントを建てることでできました。協力し合うことで自然と笑顔があふれ出しました。このことから協力し合うことがどれだけ大切か学ぶことができました。

最後に、私はこの国内研修で仲間がいることの重要さを深く感じました。それはこの五日間のりこえられたのには、いつも近くに仲間がいてくれたからです。この感謝の気持ちを学ばせてくれた、国内研修に参加できて本当に良かったです。

四国ブロック研究大会
徳島大会に向けて

第四十九回日本PTA

四国ブロック研究大会

徳島大会実行委員長

上野弘一朗

「来年は！徳島に！来てな!!」今年の十月十三日、第四十八回日本PTA四国ブロック研究大会香川大会が開催されました。その閉会式で行われた次期開催地・徳島大会のPR活動での会場への呼びかけです。

香川大会は、台風の影響も心配されましたが、当日は天候にも恵まれ、無事に開催の運びとなりました。研究大会への多数の参加、また次期開催地PR活動への協力などいただきましたことに紙面をお借りしましてPTA会員の皆様に御礼申し上げます。

さて、文頭でも申しましたように来年は徳島県で研究大会が開催されます。大会当日は四国四県から約八百人の仲間をお迎えする予定ですが、今回の徳島大会では、「第九」をテーマとした大会運営を目指したいと考えています。

来年十月十八日の徳島大会では、徳島県らしく、暖かいおもてなしで迎えたいと思いますので皆様のご協力をよろしくお願い致します。



栄えある全国表彰

十一月十五日（金）東京のホテルニューオータニに於いて日本PTA全国協議会表彰式が行われます。本県関係の受賞者は次の通りです。心よりお喜び申しあげます。

日本PTA全国協議会
会長表彰・団体

石井町立高川原小学校PTA
阿南市立加茂谷中学校PTA

日本PTA全国協議会
会長表彰・個人

県P連前副会長 森西正典

県P連前理事 古里健一
（浦庄小P）

県P連前理事 原田隼史
（阿南中P）

県P連前理事 前田秀和
（県立川島中P）

（貞光小P）

県P連総会

去る六月七日（金）県教育会館において、県P連役員・郡市代議員・受賞者の方々の出席のもと、令和元年度定期総会が盛大に開催されました。

永濱浩幸会長のあいさつに続き、熱心な活動をされた七団体と四十二名の方に表彰状と十二名の方に感謝状が、そしてPTA広報紙コンクールに入賞され

た九校に表彰状が贈られました。その後、岡本秀文氏の受賞者代表謝辞へと進みました。

ご臨席の来賓六名の方を代表して県議会議長 喜多宏思様、県教育委員会生涯学習課統括社会教育主事 川野雅弘様、県中学校校長会副会長 多代かえで様からご祝辞をいただきました。議事に入り、平成三十年度の事業報告・決算報告・監査報告・承認の後、令和元年度新役員が選出され、次に令和元年度努力目標、事業計画・予算案等についての協議が行われ、原案どおり承認の運びとなり、総会を終了しました。

令和元年度 役員

会長 泉 富士夫

副会長 佐藤 央一（板野）
（役員会推薦）

福永 浩司（那賀）
宮田 慶規（三好）
井本 友子
（役員会推薦）

上野弘一朗
（役員会推薦）

廣川 雅英
（役員会推薦）

小泉 雅彦
（役員会推薦）

多代かえで
（県小学校長会代表）

理事 楠 秀之（鳴門）
（県中学校長会副会長）

津川 孝善（小松島）

和瀬 祥章（阿南）

尾崎 奨（海部）

佐藤 大（吉野川）

鴻池 正彦（美馬）

松井 真吾（つるぎ）

監事 山根 政和（名西）

山守ひとみ（勝浦）

三木 豪（阿波）

顧問 永濱 浩幸（板野）

広報委員長 先田 仁美（鳴門）

研修委員長 阿部 美紀
（吉野川）

総務委員長 泉 富士夫
（役員会推薦）



編集後記

今までの「こころ」から少しリニューアルさせていただきます。PTAの皆さんに親しみをもって読んでいただけるような広報紙を目指し、委員一同、未経験者ばかりで何から取りかかればよいのかもわからず戸惑いしましたが、こうして無事に発行することが出来ました。

紙面作成にあたりご協力・ご支援いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

広報委員一同

子供たちの健やかな育ちのために
「とくしま親なびげーたー」を派遣します！
（徳島県教育委員会 生涯学習課の資料より）

学校（園）全体でのPTAの研修に！
学年・学級懇談会の新たな形として！
地域での家庭教育の充実のために！
ぜひ！ご活用ください！！

お問い合わせ
教育委員会 生涯学習課 学校・家庭・地域連携担当
電話番号：088-621-3148
FAX番号：088-621-2884
メールアドレス：syougaiakusyuuka@pref.tokushima.jp

とくしま親なび 検索

徳島県 PTA 連合会

小・中学生総合保障制度
自転車総合保障制度

詳しい内容は
パンフレットを
ご覧になるか
取扱代理店に
お問い合わせ
ください